

公園内で見られる植物

写真は 12 月 20 日 (土)
自然観察会で見られた
植物です



ヤブコウジ (ヤブコウジ科)

正月の生け花や苔玉の飾りに使われる縁起物。お目出度い木の1つで、冬にかわいらしい赤い実が数個付きます。別名、千両や万両に対して十両と呼ばれています。



ホルトノキ (ホルトノキ科)

オリーブに似た実をつける。「ポルトガルの木」の転訛で、元来はオリーブのことだったが、平賀源内が紀州で本種を見てオリーブと勘違いしたことからホルトノキと呼ばれるようになったという。



ヤツデ (ウコギ科)

別名テングノハウチワ。11～12月、枝先に球形の散形花序を円錐状につけ、白い小さな花を多数つける。よく似た実にタラノキがあるが、8～9月に実がなるので区別できる。

次の2枚の足跡は何でしょう？



カラス？カケス？キジ？



イタチ？キツネ？タヌキ？テン？